

令和6年度 京都市立西京極中学校評価アンケート（前期）生徒全体より

校は 自立と貢献				
自立：自分の力で考え、理解、判断し、行動する力。				
貢献：社会の多様な人たちの考えに触れ、自らの個性やよさや可能性を適切に行使し、尊敬しながら受け入れられる力				
目指す学校像：生徒も教職員も、明日が来るのが楽しみになる学校				

学校評価アンケートでは、本校「校は」の達成状況を判断するために生徒の視点で、「学校について=自立・目指す学校像」「確かな学力=自立」「豊かな心=貢献」の3つの大問について回答をいただきました。

【 学校について=自立・目指す学校像 】：7項目

①	毎日学校へ楽しく通っている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		60.4%	32.9%	4.7%	2.0%
		93.3%		6.7%	
②	学校や学級は、いじめや暴力のない安全で安心な場所である。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		62.0%	31.6%	3.7%	2.7%
		93.7%		6.3%	
③	困ったことや悩みがあるときに、相談できる先生がいる。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		54.8%	36.0%	5.9%	3.3%
		90.8%		9.2%	
④	学級や部活動、授業の中で、自分の努力は認められる。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		49.7%	39.7%	9.2%	1.4%
		89.4%		10.6%	
⑤	学校や社会の決まりを守っている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		66.0%	30.8%	2.9%	0.4%
		96.7%		3.3%	
⑥	学校からの配布物は必ず保護者に見せている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		46.0%	37.9%	11.8%	4.3%
		83.9%		16.1%	
⑦	生徒会を中心に自分たちで活動する雰囲気が作られている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		50.8%	43.3%	5.1%	0.8%
		94.1%		5.9%	

【 確かな学力=自立 】：6項目

⑧	授業は活発であると同時に、安心できる雰囲気の中で進められている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		57.0%	36.5%	5.1%	1.4%
		93.5%		6.5%	
⑨	授業はわかりやすく、興味のもてる内容である。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		44.2%	47.3%	6.1%	2.4%
		91.4%		8.6%	
⑩	授業を通してじっくり考えたり、自分の考えをまとめたりする力がついてきた。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		51.2%	41.2%	5.7%	1.8%
		92.4%		7.6%	
⑪	授業を通して、自分の意見を発言したり文章に表すなど、表現する力がついてきた。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		45.8%	42.2%	8.8%	3.3%
		88.0%		12.0%	
⑫	意欲的に学習する姿勢が身についてきた。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		48.8%	41.2%	7.3%	2.7%
		90.0%		10.0%	
⑬	平日の家庭での学習時間(塾などを含む)	2時間以上	1時間以上	1時間以内	0分
		34.6%	31.0%	25.7%	8.8%
		65.6%		34.4%	

【 豊かな心=貢献 】：6項目

⑭	友人や他の人にに対して、思いやりのある行動がとれている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		57.3%	39.4%	2.2%	1.0%
		96.7%		3.3%	
⑮	クラスや学年などにおいて、自分の思いを伝えたり、周りの意見を聞いたりすることができる。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		56.0%	37.7%	4.1%	2.2%
		93.7%		6.3%	
⑯	自分の学校や地域を誇りにもち、大切に思っている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		57.3%	35.3%	6.1%	1.2%
		92.7%		7.3%	
⑰	校内だけでなく、校外でも挨拶をしている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		51.7%	34.2%	10.8%	3.3%
		85.9%		14.1%	
⑯	地域の取組や行事(お祭など)に積極的に参加している。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		34.7%	33.7%	21.2%	10.4%
		68.4%		31.6%	
⑯	平日のケータイやスマートフォンの使用時間	2時間以上	1時間以上	1時間以内	0分
		62.5%	23.6%	10.2%	3.7%
		86.2%		13.8%	

【 学校評価より考える 】

7月学校評価アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。左・上の表を見ていただくとわかるように、生徒はおおむね安心して学校生活が送れており、授業にも落ち着いて取り組んでいる様子がうかがえます。「校は 自立と貢献」の達成状況も良好です。

確かな学力=家庭学習時間

「⑬平日の家庭での学習時間(塾などを含む)」が2時間以上の生徒は全体の34.6%、1時間以上は65.6%になります。前回の「学校だより」に掲載しました、全国学力・学習状況調査(3年生:4月実施)の数値と、全校生徒のアンケート数値とは大きく違いはありません。

豊かな心=携帯やスマートフォンの使用時間

昨年度までと変わらず大きな本校の課題です。「⑯平日のケータイやスマートフォンの使用時間」は86.2%の生徒が一日に1時間以上スマホをさわっているようです。この数値も前回の「学校だより」に掲載しました、全国学力・学習状況調査(3年生:4月実施)の数値と、全校生徒のアンケート数値とは大きく違いはありません。学年が違えば使い方も違うのでは…との思いは違うようです。やはり便利がよく、全校生徒の保有数も学年による違いは見られないようです。

普段からSNSトラブルが多いことと合わせて、ご家庭でもスマホの使い方について話し合う機会をもつことは、生徒の皆さんにとって重要な事ではないでしょうか。前回の「学校だより」に掲載しましたが、OECD生徒の学習到達度調査(PISA2022)においても、日本もOECD平均も、SNSやデジタルゲームに費やす時間が一定程度(1時間以上といわれています)を超えると、3分野(数学的リテラシー、読解力、科学的リテラシー)の得点は低下する傾向が確認されている。とまとめています。スマートフォンの使用と学力には、大きな関係があるようです。自身のためにも使用する時間を決めるようにしたいですね。

学校について

「①毎日学校へ楽しく通っている。」は、全体の93.3%の生徒が肯定的に回答しています。そして、「③困ったことや悩みがあるときに、相談できる先生がいる。」は、90.8%の生徒が肯定的に回答し、「④学級や部活動、授業の中で、自分の努力は認められる。」は、89.4%が肯定的に回答しています。そして、「⑭友人や他の人に対して、思いやりのある行動がとれている。」は、96.7%の生徒が「思いやりのある行動がとれている。」と回答しています。この3つの質問には関係性があり、人は、「悩みを相談でき、自身を認めてもらえる」環境にいれば、おのずと「人に優しくなる」ことにつながっています。生徒と教職員とが、信頼関係を築くことができているからこそ、生徒の皆さんが学校生活を穏やかにすごすことができているのではないかでしょうか。

令和6年度 京都市立西京極中学校評価アンケート（前期）保護者全体より

学校評価アンケートでは、本校「校是」の達成状況を判断するために保護者の視点で、「学校について=自立・目指す学校像」「確かな学力=自立」「豊かな心=貢献」の3つの大問について回答をいただきました。

【 学校について=自立・目指す学校像 】：9項目

①	学校は、教育目標・教育方針をわかりやすく伝えている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		31.4%	61.9%	6.8%	0.0%
		93.2%		6.8%	
②	子どもは、いじめや暴力の心配なく、楽しく学校に通っている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		63.6%	32.2%	4.2%	0.0%
		95.8%		4.2%	
③	子どもは、学校での出来事について家庭内でよく話す。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		31.4%	40.7%	25.4%	2.5%
		72%		28%	
④	学校は、ホームページや「学校だより」等の配布物などで生徒の様子や学習内容をよく知らせている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		32.2%	58.5%	8.5%	0.8%
		91%		9%	
⑤	学校は、施設の整備やよりよい教育環境づくりに務めている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		23.7%	57.6%	16.9%	1.7%
		81%		19%	
⑥	教職員は、保護者や地域に対して、礼儀正しく節度のある接し方をしている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		52.5%	44.1%	2.5%	0.8%
		96.6%		3.4%	
⑦	学校は、基本的な生活習慣(挨拶やマナー等)や思いやり等、道徳的な指導をしっかりと行っている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		32.2%	62.7%	3.4%	1.7%
		94.9%		5.1%	
⑧	学校は、安全指導・保健衛生指導の徹底等、事故防止に向けた取組をしっかりと行っている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		33.9%	60.2%	4.2%	1.7%
		94.1%		5.9%	
⑨	教職員は、生徒の実態をよく把握し、個に応じた適切な指導を行っている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		27.1%	64.4%	5.9%	2.5%
		91.5%		8.5%	

学校について

生徒：「①毎日学校へ楽しく通っている。」は、全体の93.3%の生徒が肯定的に回答しています。

保護者：「②子どもは、いじめや暴力の心配なく、楽しく学校に通っている。」は、全体の95.8%が肯定的に回答しています。

3%弱の差がありますが、おおむね生徒と保護者の意見に違いはないようです。

ただ、生徒の2%が「そう思わない」と回答しており、この数値を0にすることが後期の課題となります。全員の生徒と保護者が「目指す学校像：生徒も教職員も、明日が来るのが楽しみになる学校」と思っていただけるように、生徒アンケート欄にも書きましたが、生徒と教職員の信頼関係を更に高めるように、もう一度、普段からの細かな関係作りを大切にしたいと思います。

【 確かな学力=自立 】：4項目

⑩	子どもは、学習に意欲的に取り組んでいる。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		27.1%	49.2%	19.5%	4.2%
		76.3%		23.7%	

⑪	教職員は、指導方法を工夫し、わかりやすい授業を行っている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		16.1%	74.9%	8.5%	0.8%
		90.7%		9.3%	

⑫	子どもは、学校で学んだことを、身の回りの生活や家庭で生かそうとする姿が見られる。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		18.6%	55.9%	23.7%	1.7%
		74.6%		25.4%	

⑬	子どもの家庭学習	2時間以上	1時間以上	1時間未満	0分
		31.0%	31.0%	34.5%	3.5%
		61.9%		38.1%	

【 豊かな心=貢献 】：4項目

⑭	子どもは学級活動や行事、部活動などを通して学校に親しい仲間がいる。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		61.9%	32.2%	5.1%	0.8%
		94%		6%	

⑮	学級や学年、学校全体で、人権を大切にしながら集団作りをしている。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		34.7%	61.0%	2.5%	1.7%
		95.8%		4.2%	

⑯	子どもは規律正しい学校生活が送れていると思う。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		45.8%	47.5%	5.9%	0.8%
		93.2%		6.8%	

⑰	子どもは年齢相応の社会性(人とのかかわりや集団活動、地域の取組や行事(お祭など)などへの参加等)が身についてきたと思う。	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
		37.3%	55.1%	7.6%	0.0%
		92.4%		7.6%	

【 学校評価より考える 】

7月学校評価アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。左・上の表を見ていただくとわかるように、「校是 自立と貢献」の達成状況も良好です。生徒と保護者の回答結果を合わせてみてみたいと思います。

確かな学力

生徒：「⑬平日の家庭での学習時間（塾などを含む）」は、2時間以上の生徒は全体の34.6%、1時間以上は65.6%になります。

保護者：「⑬子どもの家庭学習」は、2時間以上が全体の31.0%、1時間以上は61.9%になります。

4%弱の差がありますが、おおむね生徒と保護者の意見に違いはないようです。

ただ、0分と回答した生徒が8.8%に対して、保護者は3.5%と回答しており、倍以上の差があることが気になります。

生徒：「⑨授業はわかりやすく、興味のもてる内容である。」は、全体の91.4%が肯定的に回答しています。

保護者：「⑪教職員は、指導方法を工夫し、わかりやすい授業を行っている。」は、全体の90.7%が肯定的に回答しています。

おおむね生徒と保護者の意見に違いはないですが、さらに「わかりやすい授業」への授業改善を進めなければなりません。

豊かな心

生徒：「⑭友人や他の人に対して、思いやりのある行動がとれている。」は、96.7%の生徒が「思いやりのある行動がとれている。」と回答しています。

保護者：「⑮学級や学年、学校全体で、人権を大切にしながら集団作りをしている。」は、95.8%が肯定的に回答しています。

おおむね生徒と保護者の意見に違いはないようです。ご家庭でも子どもたちの「思いやり」に気付いていただけているようです。子どものいいところが見られましたら、どんどん褒めてあげてください。